

2019 年度
事業計画書

2019年 4月～2020年 3月

目 次

1. 2018 年度 法 人 事 業 概 要
2. 2019 年 度 法 人 事 業 計 画
 - (1) 事業運営方針(理事長方針)
 - (2) 法人単位予算概要
 - (3) 職員配置・業務分担
 - (4) 会 議
 - (5) 委員会
 - (6) 年間行事
 - (7) 研 修
 - (8) その他

社会福祉法人 鶴 林 園

1. 2018 年度法人事業概要

平成 30 年度は、創立 51 年目の一步を歩み出した年であった。各事業所は具体的な目標を設定し、「次の 50 年」に向けて、働きやすい職場環境の構築と、ご利用者の「生きがい」、幸福を追求することに努めた。

なお、各事業所の推進状況については、事業所ごとに上程されている「平成 31 年度 事業計画書」を参照されたい。

【平成 30 年度事業運営方針(理事長方針)】

1. 全職員が自信と誇りを持って、第一歩を踏み出そう。

歴史と伝統のある鶴林園、更なる第一歩を歩み始めるために各事業所は先ず次の 3 項目を手掛けよう。

- (1) 過去の歴史を整理する。
- (2) 現在置かれている状況を確実に把握し、全員で共有する。
- (3) 3～5 年の中期展望を組み立てる。

事業所の過去・現在・未来の理解は、事業運営のベースとなるもの。

現在は過去から生まれ、未来は現在から生まれる。

2. 良質な職員を育成し、働きやすい職場環境を自ら確立していこう。

上質な事業は、良質な職員から生まれる。

良質な職員の育成は、事業運営にとって必須事項であり、最大の関心事である。

事業の原点、福祉の原点に立ち返り、全職員が各自の役割を認識し、その達成のために最大限の努力を払うことにより、働きやすい職場環境が自ら醸成されてくる。

3. ご利用者一人ひとりの幸福は、それぞれの生きがいや心の平安にあると心得、

その達成のために、ご利用者と共に考え、実践してみよう。

ご利用者の真の幸福は、ご利用者本人しか得ることができない。

各職員は、鶴林園が培ってきたソーシャルワーク機能やチームワークを駆使して、その達成に日々努力しよう。

事業においては、養護老人ホームの一部を介護保険の特定施設に変更し、4 月からの認可を受け、介護保険制度に基づく手厚い施設サービスを整備した。

これにより初年度は設備備品投資が発生したが、来年度からは財政的に安定化を図ること

が可能となる。ただし、同時に養護老人ホームに軸足を置いていた在宅事業(デイ・センター、ホームヘルプサービス、居宅介護支援センター)は事業規模が縮小し、将来に向けて大きな方針転換が必要な年になった。

また職員の確保においては苦戦を強いられ、前年同様、補充が追い付いていない。昨年より採用活動にも資金を投下し、人材確保に努めてきたが定着には至らず、新たな打ち手を講じたい。

支出面では大規模な修繕と大型の設備更新は先送りしており、2019年度以降、計画的に進めることでご利用者の住環境整備、職員の職場環境整備に努めたい。

(単位:千円)

科目	平成 30 年度 当初予算	平成 30 年度 二次補正予算	平成 30 年度 決算予想
事業活動収入	1,122,290	1,153,420	1,152,150
事業活動支出	1,077,940	1,107,870	1,118,900
事業活動資金収支差額	44,350	45,550	33,250
修繕積立資産支出	0	0	0
当期資金収支差額	▲40,000	100	8,400
当期末支払資金残高	332,623	378,106	386,406

※10,000 千円の借入金を含む

2. 2019年度法人事業計画

(1) 事業運営方針(理事長方針)

鶴林園は創立51周年という新たなステージに入った。

現在、高齢者福祉業界では、地域共生社会実現の一翼を担い、質の高い安心で効率的な介護サービスの提供が求められている。

このようときこそ、鶴林園は時流に流されず、地域のニーズを踏まえ、高齢者福祉に求められる原点を見極め、それぞれの業務を基本に忠実に邁進しなければならない。

本年度は、次の基本的な考え方にに基づき、各事業所目標を設定、全職員が叡智を結集し、着実に実行するとともに、成果を得ることとしたい。

1. PDCAを始める前に、まず現状を把握すると共に結果を

想定し、実行に値する意義があるか確認しよう。

(何が求められているのか、検証しよう)

2. 2歩前進する前に、1歩後退する勇気を持つ。
 (常に、確実な業務を実行しよう)
 (トリプルチェックを励行しよう)
3. 物事を俯瞰する習慣を身につけよう。
 (全ての物事を、常にゼロベースで考え、実行しよう)
 (サービスの相手先に思いを馳せ、おもいやりのある
 仕事をしよう)

以上に基いて、各事業所は「2019年度 事業計画書」を立案した。

法人全体の事業目標は以下を掲げる。

①利用者の食・住環境整備の推進

- 1) 本館及び新館の経年劣化に伴い、今後3年計画をもって中規模修繕を順次実施する。
- 2) 利用者の健康増進、更には「食」の楽しさを提供できるよう、給食委託事業における業者コンペを実施する。

②事業の安定化と財務基盤の強化

- 1) 特定養護老人ホームの経営安定化を図る。
- 2) 法人全体の財務規律を整理し、基盤強化を図ることで年間3千万円の事業収支改善を実現する。

(2) 法人単位予算概要

2019年度は、職員の確保と定着化を重要課題とし、特定養護老人ホームの経営安定化を図ることで、法人全体の財務基盤を強化したい。

更により一層の事業効率化と組織強化に努め、積極的にサービスの充実・利用者拡大に取り組むことを目指し、特にご利用者の住環境整備と職員の職場環境の整備を中期的計画として取り組む。

また前年同様、職員確保対策については注力し、法人の総力戦として取り組む。

(単位:千円)

科目	平成 30 年度決算予想	2019 年度計画
事業活動収入	1,152,150	1,209,910
事業活動支出	1,118,900	1,135,460
事業活動資金収支差額	33,250	74,450
修繕積立資産支出	0	0
予備費		18,000
当期資金収支差額	8,400	3,200
当期末支払資金残高	386,406	389,620

(3)職員配置・業務分担

法人における経営および事業遂行については、以下別紙による。

- ①社会福祉法人 鶴林園 経営管理組織図(別添1)
- ②社会福祉法人 鶴林園 事業組織図 (別添2)

(4)会議

法人における会議は、経営に関わる重要な審議の場と位置付け、次にあげるものとする。

会議名	開催時期	出席者
理事会・評議員会	6月、11月、3月、 及び必要の都度	理事、評議員、監事、事務局
経営会議	毎月第4水曜日	理事長、統括施設長、園長、顧問、 事務局長(補佐)、各事業所責任者、部長
理事長定例報告会	毎月第3木曜日	理事長、統括施設長、事務局長、 各事業所責任者
合同職員会議	5月、11月第3日曜日	全職員
第三者委員会	必要の都度	理事長、統括施設長、第三者委員、事務局長

(5)委員会

法人全体の委員会活動は、次にあげるものとする。

委員会名	開催時期	出席者
安全衛生委員会	毎月第2木曜日	産業医、衛生管理者、事業者委員、労働者委員
防災委員会	毎月第2火曜日	防火管理者、各事業所委員
車輛委員会	奇数月	安全運転管理者(正・副)、各事業所委員
広報委員会	毎月第4木曜日	統括施設長、各事業所委員
ホームページ委員会	毎月第2木曜日	統括施設長、各事業所委員

(6)年間行事

法人全体の行事計画については次の別紙を参照されたい。

- ①「2019年度 年間行事スケジュール」(別添3)

(7) 研修

職員の育成は法人に課せられた重要な使命であると認識し、次にあげる研修を法人全体の取り組みとして実施する。

研修名	開催月	研修内容
新入職員研修	随時	新入職員の入社時研修
新入職員合同研修	4月	年度ごとの新入職員に対する研修
弁護士による事例勉強会	概ね毎月	中堅職員に対する事例研修
新入職員フォローアップ研修	別途立案	入社後の職員に対するフォローアップ研修
ミドルセミナー	別途立案	3年目以上の職員に対する教育研修
トップセミナー	別途立案	管理職に対する教育研修
理事長職員研修	毎月第4水曜日	職員に対する理事長を講師とした教育研修

(8) その他

利用者満足度の向上と、サービスの品質向上のため、次の苦情解決体制で対応する。

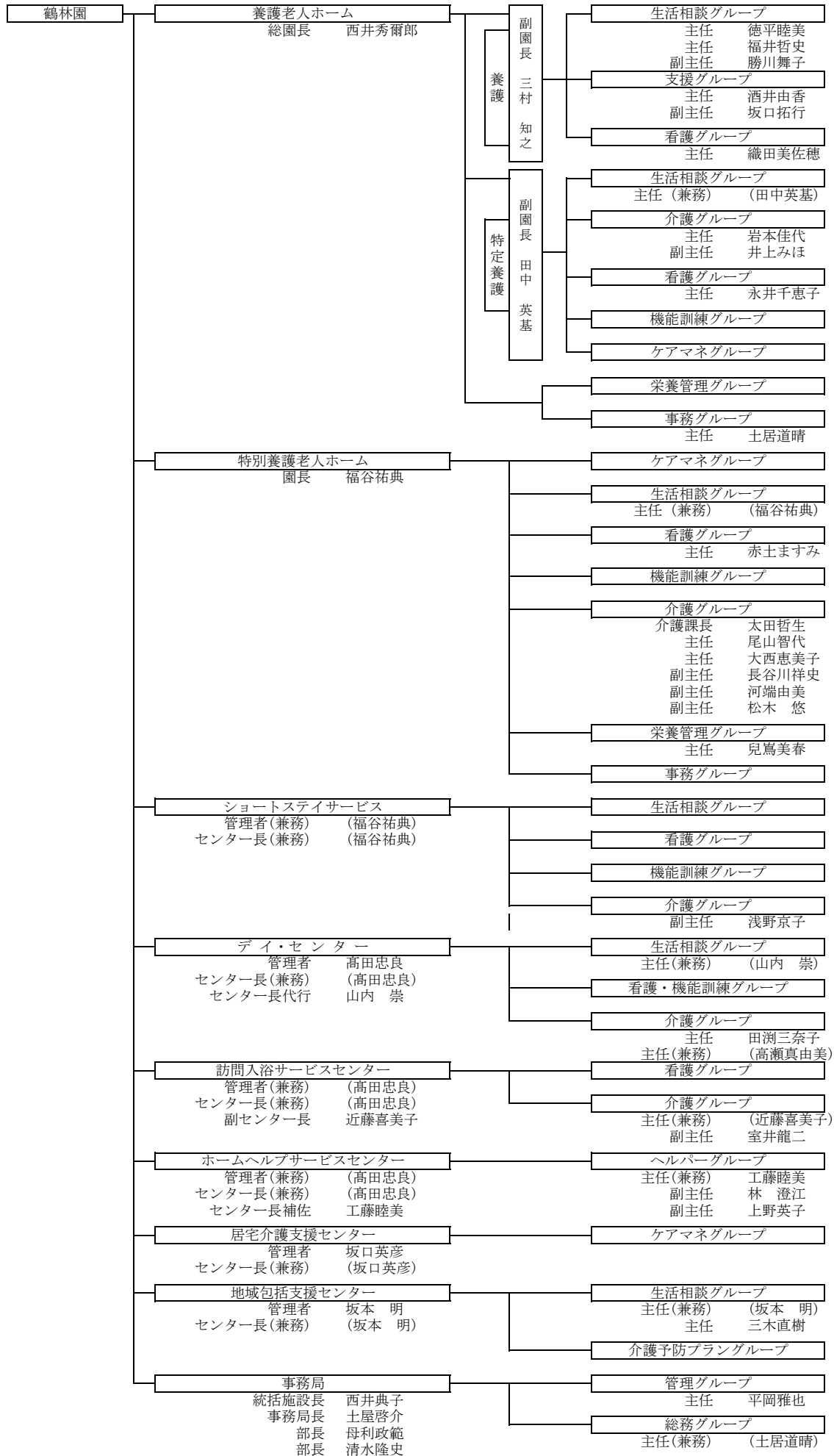
- ① 鶴林園苦情解決体制 (別添4)

以上

社会福祉法人 鶴林園 経営管理組織図



社会福祉法人鶴林園 事業組織図



2019年度 年間行事スケジュール (案)

項目 月度	行	事
第3木曜日	理事長定例報告会	9:00～17:00
第4水曜日	経営会議	16:00～17:30
第4水曜日	理事長職員研修	17:45～18:30
4月	入社式	4月1日(月)
	新人職員研修	4月1日(月)～4月3日(水)
	創立記念日	4月18日(木)
	職員のつどい	4月18日(木)
	コミュニケーションセミナー	4月26日(金)
参考	天皇陛下退位の儀 関連	4月27日(土)～5月6日(月) 10連休
5月	前年度書類整理点検(文書保管)	5月1日(水)～
	各事業所業務自主点検	5月8日(水)～5月15日(水)
	事業報告書・決算報告書 提出	5月17日(金)
	コミュニケーションセミナー	5月17日(金)
	法人監事監査	5月21日(火)～5月24日(金)
	合同職員会議	5月26日(日)
	加古川フィルハーモニー定期演奏会 ＜レインボーコンサート＞	5月26日(日)
	県・市指導監査受入準備完了	5月末
6月	理事会 事業報告	6月7日(金)
	コミュニケーションセミナー	6月21日(金)
	評議員会 事業報告他	6月25日(火)
	法人資産登記	6月27日(木)
	県・市指導監査開始	県指定日
	現況報告書提出	〃
	監査事前資料提出	〃
	県集団指導	〃
7月	理事会 理事長選出	7月5日(金)
	機密文書廃棄	7月10日(水)
	コミュニケーションセミナー	7月19日(金)
8月	盆踊り	8月8日(木)
	コミュニケーションセミナー	8月16日(金)
9月	敬老会	9月15日(日)
	コミュニケーションセミナー	9月20日(金)
参考	天皇陛下即位の儀 関連	10月22日(火)
10月	機密文書廃棄	10月9日(水)
	コミュニケーションセミナー	10月18日(金)
	鶴林祭	10月20日(日)
	創立者を偲ぶ会	10月30日(水)
11月	鶴林祭	11月3日(日)
	コミュニケーションセミナー	11月15日(金)
	合同職員会議	11月17日(日)
	第1次補正予算(案)	11月上旬
	理事会 補正予算	11月19日(火)
	評議員会 補正予算	11月28日(木)
12月	コミュニケーションセミナー	12月20日(金)
1月	新年祝賀会	1月1日(水)
	機密文書廃棄	1月8日(水)
	新年度理事長方針示達	1月15日(水)
	コミュニケーションセミナー	1月17日(金)
	新年度事業計画立案	1月23日(水)～
2月	コミュニケーションセミナー	2月21日(金)
	第2次補正予算(案)	2月下旬
3月	事業計画(案)・新年度予算(案)提出	3月6日(金)
	理事会 予算(案)、事業計画(案)	3月17日(火)
	コミュニケーションセミナー	3月20日(金)
	評議員会 予算(案)、事業計画(案)	3月26日(木)

平成31年4月1日

鶴林園苦情解決体制

事業所名 (施設長・管理者)	苦情解決責任者	苦情受付担当者	第三者委員
養護老人ホーム 施設長 西井 秀爾郎	事務局 事務局長 土屋 啓介	副園長 三村 知之	平野 雄幸 (元関西医科大学 渉外部長) 柳原 正美 (柳原経営労務研究所 所長)
特定養護老人ホーム 管理者 田中 英基		副園長 田中 英基	
特別養護老人ホーム 施設長 福谷 祐典		園長 福谷 祐典	
ショートステイサービス 管理者 福谷 祐典		センター長 福谷 祐典	
デイ・センター 管理者 高田 忠良		センター長 高田 忠良	
訪問入浴サービスセンター 管理者 高田 忠良		副センター長 近藤 喜美子	
ホームヘルプサービスセンター 管理者 高田 忠良		センター長 高田 忠良	
居宅介護支援センター 管理者 坂口 英彦		センター長 坂口 英彦	
地域包括支援センターかこがわ西 管理者 坂本 明		センター長 坂本 明	